

平成13年度 文学部 授業計画表[syllabus]

地4選

科目名	地理情報システム(GIS)	4単位	(ふりがな)	は	せ	がわ	ひとし
(英文名)	Introduction to Geographic Information System		担当者	長	谷	川	均
授業のねらいと概要: 地理情報システム(GIS)の理論を理解した後、実習によってGISのソフトを自分で操作し、与えられた作業を行う。 講義の最終的な目的は、GISの入門的な知識を身につけた後、実際の利用方法や実務での応用を身につけることである。							
教科書と参考図書: 矢野著「地理情報システムの世界」(ニュートンプレス刊)を教科書とする。 文献リストを開講時に配布する。講義では毎回資料を配付する。							
評価法: 前・後期2回の試験、レポート(後期2回)の合計点で評価する。レポート提出と試験は必須。 なお、再試験は実施しない。出席を重視し、評価時に加味する。							

【授業計画】

回数	授 業 内 容 と そ れ に 必 要 な 準 備	回数	授 業 内 容 と そ れ に 必 要 な 準 備
第1回	講義の紹介。GISの定義 「GIS入門…身の回りにあるGISの利用例」プロアトラス紹介	第15回	GISの実際 A-① 「土地利用の例に、デジタル地図の作成とデータベースのリンク」
第2回	GISの種類、インターネットGIS、モバイルGISなど GEOアトラス紹介	第16回	GISの実際 A-②
第3回	GISと紙地図 GISのメリット、デメリット、NCM地震シミュレーション 1/20万数値地図などのデモ	第17回	GISの実際 A-③
第4回	GISのしくみ① 「必要な知識と教材、ソフト」	第18回	GISの実際 A-④
第5回	GISのしくみ② 「データの種類。ラスターデータ、ベクターデータの違いと特徴」	第19回	GISの実際 A-⑤
第6回	GISのしくみ③ 「データベースの概要」	第20回	GISの実際 B (半完成データ利用) 「世田谷区を例にしたGISの構築」
第7回	GISの動かし方①-1 「GISソフトの起動と終了方法」	第21回	GISの実際 B (半完成データ利用) 「世田谷区を例にしたGISの構築」
第8回	GISの動かし方①-2 「GISソフトの使い方」	第22回	GISの実際 B (半完成データ利用) 「世田谷区を例にしたGISの構築」
第9回	GISの動かし方①-3 「GISソフトの使い方」	第23回	GISの実際 C (半完成データ利用) 「小規模都市での統合地理情報システム構築の試み」
第10回	GISの動かし方② 「データの入力と結果の出力。デモデータを使用した簡単な作業」	第24回	GISの実際 C (半完成データ利用) 「小規模都市での統合地理情報システム構築の試み」
第11回	GISの動かし方③ 「主題図の作成1。簡単な土地利用図(3時期の経時変化)を 3回に分けて作成する」	第25回	GISの実際 C (半完成データ利用) 「小規模都市での統合地理情報システム構築の試み」
第12回	GISの動かし方④ 「主題図の作成2」	第26回	GISの実際 C (半完成データ利用) 「小規模都市での統合地理情報システム構築の試み」
第13回	GISの動かし方⑤ 「主題図の作成3。完成した図をもとに、GISの効果を知るための 実習を行う。」		
第14回	スケジュール調整日(講義は行う)		